

# マネジメントニュース

今月号のニュース

## 「ISO27001の概要」 その2

### 情報セキュリティマネジメントシステム取得 のメリット プライバシーマークとの違い

## ISO27001の概要 その2

### 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）取得のメリット

#### （1）マネジメントシステムと認証制度

最近では、「マネジメントシステム」という言葉が広く使われるようになり、中小企業などの中でも認知され始めて来ています。このマネジメントシステムを企業の中に構築する上では、第三者が審査などを行い認証する制度が一般的になっています。

その代表例は、ISO9001の品質マネジメントシステムや、ISO14001の環境マネジメントシステムです。今回のISO/IEC27001情報セキュリティマネジメントシステム（以下、ISMS）も同様に、第三者に認証されることとなります。

#### （2）認証取得のメリット

第三者の認証取得のメリットとしては、以下のような内容が挙げられます。

マネジメントシステムの妥当性を確認

ISMSを構築したが本当にこれで良いのかなど、内容について不安がある場合第三者に客観的に評価してもらい、その仕組みが妥当かどうかの判断をしてもらう。

仕組みが継続的に機能していることを確認

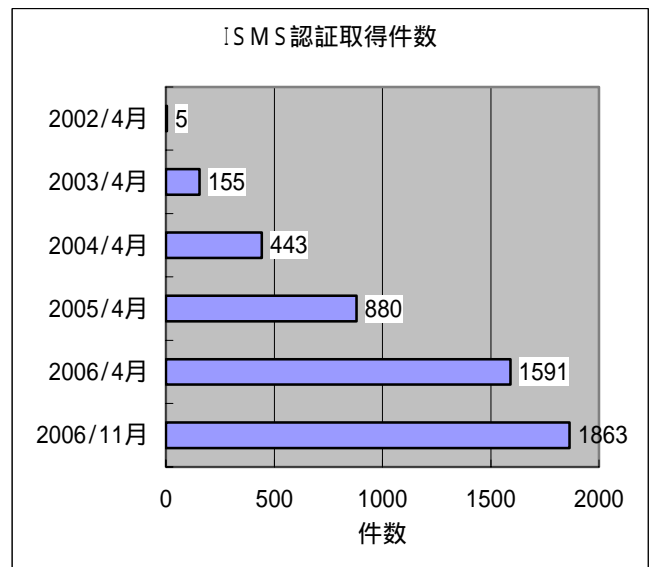
ISMS以外でも、マネジメントシステムは継続的に改善されるなど、常に機能していることが求められています。しかし、中小企業などの実情では、自社内だけでの実施は難しい面があります。その為、第三者審査を利用しある程度モチベーション（やる気を起こさせる心の動き）を維持することも出来ます。

#### 他社との差別化

前回でも述べたとおり、最近の企業は情報に対して“鈍感”ではいられなくなっています。大手企業になればなるほど、様々な情報の管理が出来ている企業に仕事を任せます。その場合の一つの指標が「情報セキュリティマネジメントシステム」の第三者による認証取得なのです。

#### （3）ISMSの取得件数

2002年から先月までの推移は以下の通り。飛躍的に伸びていることが一目瞭然です。



#### （4）ISMSの内部的なメリット

ISMS取得に関しての内部的なメリットとしては、以下のような内容が考えられます。

社内での情報セキュリティに関する管理体制が整う

情報資産を守るべき体制（人、設備など）が効率的に実施でき、経営資源を無駄なく利用できる

個々の従業員に対して責任の明確化を行う

ことで、情報セキュリティに対する意識の向上が見込める  
 文書化（マニュアル・手順書・帳票など）を実施することで、ノウハウの共有化や一貫性を持った業務が推進できる

## ISMSとプライバシーマーク（PMS）との違い

### （１）ISMSとPMS

ISMSとプライバシーマーク（以下、PMS）の流れを比べてみると、次の表のようになります。

	ISMS	PMS
1980年		OECDでガイドラインが採択
1995年	BS7799：1995	EU「データの移転禁止」
1998年	BS7799 Part1、Part2	
1999年		JISQ15001 制定
2000年	BS7799 Part1がISO/IEC17799となる	
2005年	BS7799 Part2がISO/IEC27001となる	
2006年	JISQ27001	JISQ15001 改定

### （２）情報セキュリティと個人情報の保護

ISMSとPMSの大きな違いは、その対象となる情報にあります。

ISMSの場合は、企業が保有している情報資産についてどのような「脅威」があり、また「ぜい弱性」があるのかを認識しリスクの対策を行う事になります。

脅威：組織やシステムに損害を与える可能性のある事象の潜在的な原因

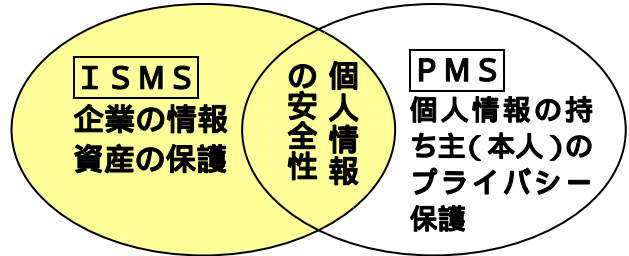
ぜい弱性：情報資産などがもつ弱点

PMSの場合は、個人情報の持ち主である「本人」のプライバシーを保護することが目的となります。

上記のように、ISMSはより企業の自己防衛としての役割が強く、その中で個人情報の取扱いとしては『個人情報の安全性の確保』が主となります。

個人情報の取得の際の『利用目的』の本人からの同意や公表などの手続き、また本人の権利に関する内容などはPMSの仕組みでは規定されていますが、ISMSには規定されていません。

### 【ISMSとPMSとの関係性】

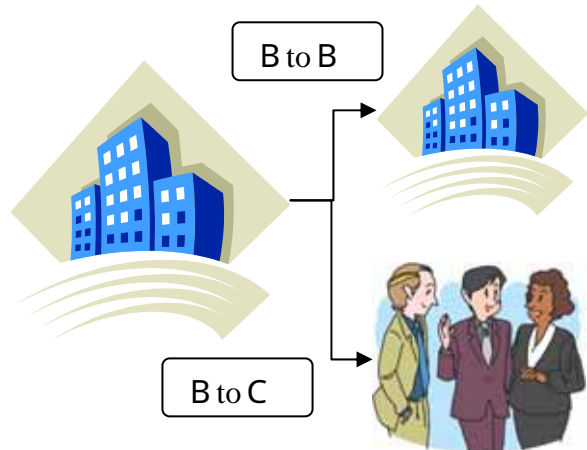


### （３）企業にとっての必要性

以上のことから、企業にとってISMSに取り組むか、PMSに取り組むかはその必要性により変わってきます。

また、「B to B（企業対企業）」の取引が多い場合と、「B to C（企業対個人）」の取引が多い場合とでも方向性が変わってきます。

その他、ISMS取得の場合は、対象が企業の一部の事業所でも可能ですが、PMSは企業全体での取得が必要です。それぞれの特質を見極めてどのような仕組みに取り組むかを検討することが重要です。



いずれにしても、この情報化時代の中では、自己防衛について何らかのマネジメントシステムが必要になるということは間違いありません。

（株）マネジメントセンターへの、ご意見、ご質問をFAX又はメールでお寄せ下さい！

FAX：029-246-4672

Mail：info@isommc.com